

# 通信票の見方

山中湖村立山中湖中学校

## ○通信票の表記について

### 1 各教科の評定

#### (1) **絶対評価**で評価をします。

※絶対評価とは集団の中でどれくらい？ということではなく、一人一人がどれくらい目標を達成しているかを表した評価です。

#### (2) 評定は5段階で表し、その表示は5 4 3 2 1とします。

#### (3) 5段階は観点別の評価をもとに評定を決定します。

### 2 特別活動

生徒会・奉仕委員会・学級役員・部の所属等を記入します。

また、学校行事については活動が顕著なものを記入します。

- ・学級活動 クラスの係，学級役員
- ・生徒会活動 生徒会執行部，奉仕委員会
- ・学校行事 その学期に行った行事に関わる係等
- ・部活動 所属，役職
- ・活動の記録 その学期に行った部活動の大会の成績，表彰，検定

### 3 行動の記録

各項目に対して次のように表します。個人内評価とします。

◎：十分成果が見られると判断されたもの。

○：おおむね成果が見られると判断されたもの。

△：努力を要すると判断されたもの。

### 4 出席

出席状況は、1学期の通信票は4月から6月までを打ち出します。

2学期の通信票は7月から11月までを打ち出します。

3学期の通信票は12月から3月までを打ち出します。

### 5 総合的な学習

各学年のテーマを追求する学習を行っています。学年ごとに学年主任と担任による所見にて評価しています。

### 6 道徳

道徳の時間を通して、どのような観点の伸長がみられたかを所見にて評価しています。所見は年度末に記します。

### 7 学校から（総合所見）

- ・1，2学期の様子は三者懇談にてお伝えしたいと思います。
- ・3学期には所見で記します。

## ○教科の評価と評定について

### (1) 観点別評価

学習指導要領の示す目標に照らしてその達成状況を見る評価が基本となります。  
観点は、「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「主体的に学習に取り組む態度」  
観点の評価は3段階で行い、A、B、Cの記号で表します。

- A：十分に満足できると判断されるもの
- B：おおむね満足できると判断されるもの
- C：努力を要すると判断されるもの

### (2) 評定

評定は、教科の学習状況を総括的に評価するものです。  
必修教科の評定は5段階で表し、5、4、3、2、1で表示します。

- 5 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの
- 4 十分満足できると判断されるもの
- 3 おおむね満足できると判断されるもの
- 2 努力を要すると判断されるもの
- 1 一層努力を要すると判断されるもの

## ○具体的な評価について

### 1 観点別評価について

#### (1) 観点の比率

各教科における3観点の比重は偏りが無いことを基本とします。

#### (2) 観点別評価の換算点

- ・ A = 3点 B = 2点 C = 1点として換算
- ・ 各教科の観点は、以下の表のようになります。

評定	観点の合計
5	9
4	8
3	5 ~ 7
2	4
1	3

### 2 各教科、観点別評価より5段階評定を出す。

評定	観点別評価		
	基本		
5	A A A		
4	A A B		
3	A A C	A B B	A B C
	A C C	B B B	B B C
2	B C C		
1	C C C		

**評定よりも観点の部分には、満足できる部分、努力を要する部分が示されています。それぞれの教科の観点を注意深く観察し、どのような内容が満足できる状況になったのか、どのような内容に努力を要するのかを毎学期確認して、今後の取り組みに生かしていきましょう。**